



開催のお知らせ

ランチョンセミナー1

整理券制

救急医療従事者のための 新しいデータ収集方法論と その将来像

座長

森村 尚登 先生



東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻
生体管理医学講座 救急科学分野
東京大学医学部附属病院 救急科(救命救急センター・
ER/集中治療部)・災害医療マネジメント部

演者

田上 隆 先生



日本医科大学多摩永山病院
救命救急センター



開催日時

平成30年 11月19日(月) 12:00~13:00

会場

パシフィコ横浜 会議センター 1階 メインホール

本セミナーは「**整理券制**」です。

整理券をお持ちの方より優先的にご入場いただけます。

配布場所：パシフィコ横浜 会議センター 1階 (予定) 整理券配布所

配布日時：11月19日(月)

注意事項：整理券がなくなり次第配布を終了致します。整理券はセミナー開始直後に無効となります。

ランチョンセミナー

田上 隆 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 病院講師

救急医療従事者のための新しいデータ収集方法論とその将来像

救急疾患患者の予後改善には、科学的根拠に基づいた救急医療システムの構築と治療戦略が必須である。病院前—救急外来初療—入院治療—退院—外来の情報を、標準化されたデータ同士で繋ぎ、救急医療従事者の英知も加え、救急医療全体を大局で把握する必要がある。

日本救急医学会救急統合データベース活用管理委員会は、理事会の承認のもと、本年度新たに、「日本救急医学会救急患者標準診療録およびSS-MIX2拡張ストレージ仕様書作成プロジェクト」を立ち上げた。SS-MIX2標準化ストレージは、患者基本情報、検体検査結果、処方オーダ情報などが国際標準HL7V2.5のデータ形式で記述されたファイルを、患者ID、診療日、データ種別で整理されたフォルダ構成に格納されたデータ格納システムである。標準化ストレージで収集出来ないデータは、「拡張」ストレージを作成することができる。救急患者に特化したSS-MIX2拡張ストレージの作成は、本学会をあげて、いま、取り組むべき課題と考える。

本講演では、本プロジェクトの概要と将来像、また現時点で活用可能な効率的なデータ収集アプリケーションについて、概説する。

救急医療管制・意思決定支援システム

e-MATCH

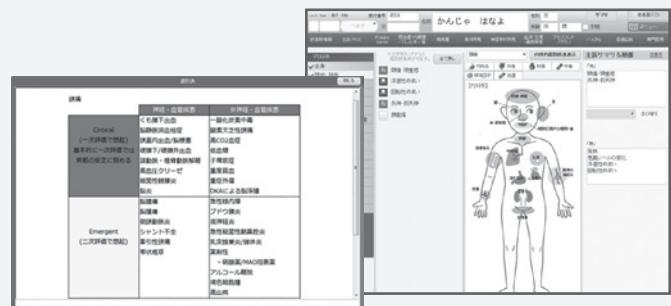
救急医療管制支援システム“e-MATCH”は、テキサス大学健康情報科学大学院准教授であった故青木則明先生の提唱されたコンセプトに基づき開発されたシステムです。「Right Patient, Right Time, Right Place」をテーマとした救急搬送を目指し、地域の救急医療の質改善をもたらします。平成22年度から奈良県で運用を開始しており、他地域にも展開を続けています。鳥の視点(Bird's View)で地域の救急医療を俯瞰することで課題を明確にし、システムにより収集され解析されたデータからPDCAサイクルを回し、最終的には質改善へと繋げます。またセキュアなクラウドサービスにより、先生方の地域の照会・搬送・診療状況の定量化・視覚化が可能となります。



救急外来情報システム

MediRound EDIS

救急外来の医療安全・時間短縮をコンセプトに、JR東京総合病院、東京大学医学部附属病院で共同開発した救急部門システムです。救急診断の流れに沿って、入力する事ができ、診療録入力の効率性を向上させております。主な機能として、「主訴の選択により診るべき身体所見の提示」、「緊急性別の鑑別疾患表示の機能」、「スタッフの情報共有化」で、救急医療の効率性のみならず教育性、安全性を高めております。



*ご都合によりご来場が難しい場合以下へご連絡ください。